

写真展

沖縄・南西諸島は今

進むミサイル要塞化



復帰 50 年 さらに軍事化が進む琉球弧の現状を伝える！

中国の海洋進出や台湾有事を口実とした日米韓やオーストラリア、インド、英・仏・独など NATO 諸国による中国封じ込め・軍備拡張政策と中国の軍事的対応により、戦争の脅威が高まっています。こうした中、中国と対峙する最前線基地として、九州島南方から台湾北東部にかけて約 1,200km にわたり連なる島嶼群である沖縄・南西諸島(奄美～琉球列島)の日米によるミサイル要塞化が進められています。

一旦武力衝突が起きれば、自衛隊・米軍と中国軍のミサイルが飛び交う激しい戦闘になり、沖縄戦やウクライナ戦争が示しているように住民は避難することもできません。今こそ、「軍隊は住民を守らない。」「軍隊は住民に銃を向ける。」という沖縄戦の教訓を思い起こし、軍備増強・戦争できる国づくりから、平和外交に転換させる必要があります。

今回、東アジア共同体研究所琉球・沖縄センターや沖縄ドローンプロジェクト・奥間政則さん等から提供を受けた写真により、沖縄・南西諸島で進められているミサイル要塞化・軍備増強の実態を知っていただけるよう、写真展を開催します。ぜひ、来場いただきますよう、ご案内します。

期間：2023年3月18日(土)・19日(日) 10:30～15:30

場所：北海道立道民活動センター「かでの2・7」(510会議室(3/18) / 310会議室(3/19))

主催：ZENKO(平和と民主主義をめざす全国交歓会)・北海道 連絡先：090-1237-9712(地脇)

※主催者のコロナ対策にご協力をお願いします。また、3/18と3/19で会議室が異なります。